

四国風景街道協議会

【平成26年度 四国風景街道交流会】を開催しました

●とき 2014.8.23(土) ●ところ 高松市内

概要

今回の交流会は、四国内で活動されているパートナーシップの方々及び行政関係者、一般参加者あわせて総勢154名にて開催しました。

交流会は以下の3部構成にて行いました。

- ・第1部 基調講演 東京大学 堀繁教授による講演 テーマ『風景街道の魅力づくり』
- ・第2部 活動報告等 パートナーシップからの活動報告、意見交換
- ・第3部 現場見学 道の駅「源平の里むれ」、庵治観光交流館、屋島山上、むれ源平石あかりロード



開会挨拶(四国地方整備局長)

基調講演

第1部では、「風景街道の魅力づくり～活性化につながる地域資源の活かし方～」と題して、東京大学アジア生物資源環境研究センターの堀繁教授より基調講演をいただきました。

講演では始めに「地域資源を活かすためには景観を理解することが重要で、来訪者が良いところだなと感じるのは目で見る景観である。景観とはモノではなく見ることであり、見る場所が無ければ景観が成立しない。人はその街が良いかどうかを景観で評価し、その評価を良くするためにはどうすれば良いか。」を具体的に説明していただきました。

次に、地域資源を上手に活用して地域を活性化させる方法について、「『ホスピタリティ表現(来訪者をもてなしてくれる表現)』が大事で、『ベンチ』は極上のホスピタリティ表現であるため、ベンチをどのように配置すれば良いか。複数の人が同時に休める所を造ることが重要。地域資源を磨くテクニックがあれば、全てが資源になる。」など、事例を紹介しながら具体的に説明していただきました。



東京大学 堀繁教授



基調講演の様子

活動報告

①えひめ やまなみ燦々 風景街道

久万高原町全域を活動範囲とし、沿道の美化活動やスポーツイベント等を行っている。今後は、ホームページ開設による認知度のアップを行い、魅力向上等につなげる。

②土居廓中

国、県、地域住民が集まって、地域の良さを発見しようということから取り組みが始まった。「人の暮らしが風景をつくる」をキーワードに小学校と連携した活動等を行っている。

③土佐のまほろば風景街道

毎年、他地区で行われている活動の視察研修を受け、取り組み事例を学んでいる。今年度はフォトゲイニングを開催し、地域の多様な魅力を再発見してもらう取り組みを行った。

④土佐市ドラゴン風景街道

土佐市全域を活動範囲とし、緑化活動やイベント等を実施している。地域の方々や色々な団体と一緒に、活動を通して土佐市を盛り上げていきたい。

⑤～オーシャンビュー～南阿波サンライン・風景海道

南阿波サンラインにもう一度磨きをかけようと、地域資源を活かしたアート展やスポーツイベント、大学と連携したビューポイントマップの作成等を行っている。

⑥むれ源平石あかりロード

地場産業である庵治石と源平合戦の史跡の融合を図りながら、地元の小中学生を対象にしたワークショップ、史跡の保存清掃活動、地元の観光ガイド等を行っている。

⑦源平ロマン街道

史跡、文化施設、美しい景観のほか、映画ロケ地などの地域資源を活用し、道路の清掃活動や植栽活動等を行っている。



活動報告の様子



活動報告の様子

意見交換

継続的な活動を行うにあたって「資金調達」が大きな課題であるとの意見があり、各団体の現状や、資金調達の方策案、効果的な広報等も含めて意見交換を行いました。

資金調達については、多くの団体が抱える共通の課題であるため、各団体がそれぞれ調達するのではなく、四国風景街道全体の問題として考えることが重要であることを確認しました。また、大学や地元企業等と協働することによりアドバイスやアイデアをいただきながら活動を行っている団体もあり、他機関と連携を行っている好事例としてパートナーシップ間で共有することができました。その中で、他機関との協働を促進するためには、風景街道の認知度を向上することが重要であるとの意見もありました。



意見交換の様子

現場見学

現場見学では、「高松市観光交流課」、「高松市牟礼庵治商工会」、「源平ロマン街道」、「高松市観光ボランティアガイド協会」、「むれ源平石あかりロード実行委員会」の方々の協力を得て、それぞれの見学箇所(道の駅「源平の里むれ」、庵治観光交流館、屋島山上、むれ源平石あかりロード)においてガイド説明を受けました。

◆牟礼図書館～道の駅「源平の里むれ」

道の駅「源平の里むれ」について、高松市観光交流課より車中にて施設概要の説明を受け、現地においては風景街道「源平ロマン街道」の解説パネル、防災トイレ、情報ステーション、物産館、房前公園などを見学しました。

◆道の駅「源平の里むれ」～庵治観光交流館

道の駅「源平の里むれ」から庵治観光交流館までの車中では、高松市牟礼庵治商工会より、房前の地名の由来や源平屋島の戦い等の説明のほか、庵治石の採石場を眺めながら説明を受けました。

庵治観光交流館では、『世界の中心で愛をさけぶ』のロケ地写真展等を見学しました。

◆庵治観光交流館～屋島山上

庵治観光交流館から屋島山上までの車中では、風景街道「源平ロマン街道」より、屋島の史跡や屋島における源平の戦いについて説明を受けました。

屋島山上では、高松市観光ボランティアガイド協会より、「血の池」や「屋島寺」などの説明を受けながら見学しました。

◆むれ源平石あかりロード

石あかりロードの散策では、むれ源平石あかりロード実行委員会より、約1kmの区間において石あかりの説明を受けながら見学しました。



道の駅 源平の里むれ



道の駅 源平の里むれ(物産館)



庵治観光交流館



庵治観光交流館(ロケ地写真展)



屋島山上(屋島寺)



屋島山頂からの夜景



むれ源平石あかりロード



むれ源平石あかりロード

おわりに

本交流会は、第1部の基調講演から第3部の現場見学「むれ源平石あかりロードの散策」まで長時間にわたって行われたにもかかわらず、参加者の皆様が地域の魅力向上に真剣に取り組む様子を拝見し、大変な熱意を感じました。

今後、事務局としても、各パートナーシップの方々との交流や意見を伺う場を設け、風景街道のさらなる発展に努めてまいりますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

このたびは、遠方にもかかわらず、これまで以上の多数の方々にご参加頂けたことに御礼申し上げます。あわせて、むれ源平石まちづくり協議会、源平屋島地域運営協議会の皆様、ご協力ありがとうございました。



お問い合わせ

●四国風景街道協議会

国土交通省 四国地方整備局 道路部 地域道路課内

●TEL087-811-8323

●FAX087-811-8421

●mail shikoku-fukeikaido@skr.mlit.go.jp